

ナラ枯れ立木くん蒸の実技研修会の実施について

1 はじめに

県内のナラ枯れ被害地域は、年々広がりを見せており、管内では西和賀町及び北上市で被害が確認されています。

被害木駆除の方法はいろいろありますが、管内では伐倒くん蒸を実施してきました。伐倒くん蒸は、駆除効果は高いのですが、伐倒が伴うため、急傾斜地では実施が困難です。そこで、当センターでは、急傾斜地で発生した被害木も駆除できる立木くん蒸の実技研修会を市町及び林業事業体を対象に開催したのでご紹介します。

2 研修内容

研修は、林業技術センターの小岩上席専門研究員を講師に招いて令和5年6月13日に行い、8名が参加しました。場所は北上市内のナラ枯れ被害地で、実際に立木くん蒸の施工を行いながら実施しました。

講師による作業を見学した後、参加者にも作業を体験してもらいました。

立木くん蒸の施工は、被害木にドリルで穴を

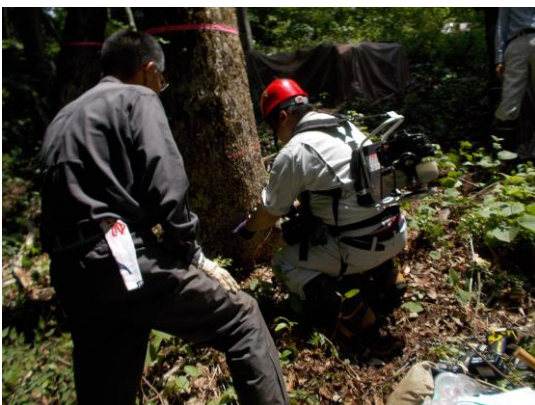
あけ、薬剤を注入する流れで行います。「開けた穴に竹串を刺すと位置がわかりやすい」、「施工範囲にテープ等を巻き付けて区切るとわかりやすい」といったアドバイスや「根張りにも施工するとよい」、「雨の日の施工は避けたほうがよい」といった留意点等を教わることができました。

また、施工には、背負い式エンジンドリルの使用が推奨されていますが、事業体が所有している電動ドリルでも施工を試みました。駆除量が少ない場合は、電動ドリルでも施工が可能であることがわかりました。

3 今後の予定

今回の研修を受け、参加者は立木くん蒸の技術を学ぶことができました。今後は、急傾斜地を含めた範囲で適切な駆除を実施していくことが期待されます。実際に北上市では、令和5年のナラ枯れ被害木の春駆除を立木くん蒸で実施することができました。

当センターでは、今後もナラ枯れ被害防止に向けた取組を進めていきます。



作業を体験する参加者



講師の説明を聞く様子